



### 秋の夜長を楽しもう



秋といえば、やっぱり月。

空気が澄み、月がひととき美しい季節です。月は、満ちたり、欠けたりと日に日に替わっていきます。「9月の十五夜を見逃してしまった！」という方。大丈夫です。10月15日は、十三夜といい、これもとても美しい月で、栗や豆の収穫期にあたるため、「栗名月」「豆名月」とも言われています。

親子で秋の空を眺めながら、最近の出来事などを話してみましょ。そんな余裕の時間が持てると、心もほっとしますね。



### 子育てメッセージ

ありのままの姿を受け入れることで心が楽になり、関わるができる

こうなってほしい、ああなって欲しい…と、親の願いはたくさんあるけれど、目の前にいる子どもは、親の所有物ではありません。この子はこういう子なんだとありのままを受け止めて、いいところを伸ばしてあげましょ。それが親にとっても子どもにとっても一番幸せ。

子育てメッセージ  
全国私立保育園連盟



### 非認知能力を育もう～中国新聞より～

今年の新年早々、能登地方を襲った大きな地震。少しずつ復興していく様子を見せているところで、今回の大雨による土砂災害。被災された方の中には、30分前までは娘さんと携帯で話をしていたのにその後、連絡が取れなくなったという方もおられ、子どもを持つ親としてはいたたまれない気持ちです。

広島はとても気候に恵まれ、大型の台風10号が接近したときも皆さんに登園自粛をお願いしましたが、幸い大きな被害はなく通り過ぎていきました。とはいえ、今後も今までにない異常気象が続き、皆さんのご協力をお願いすることがあると思います。すいこうは、園舎は、耐震など強化した構造になっています。3階の防災倉庫には、飲料水、レトルトご飯、発電機なども用意しておりますので、不足はないか再点検して子どもたちの大切な命を守ることができるよう、職員一同、日ごろの訓練などに取り組んでまいります。

さて、9月3日の中国新聞にお茶の水大学の浜野教授が「非認知能力を育もう」という、すいこうが大切にしているとても興味深い記事が掲載されていましてのでご紹介いたします。まず、『非認知能力とは何か』と言うことです。園だよりではもちろんですが、行事などで事あるごとに『非認知能力』についてお伝えしておりますが、浜野教授の文章を要約しますと、

1. 「目標を達成する力」…忍耐力、自制心、好奇心、最後までやり抜く力、やればできるという力、
2. 「他者と協働する力」…社会性や思いやり、共感性、協調性、
3. 「感情をコントロールする力」…自尊心や自己肯定感、楽観性、挫折から立ち直る力。これらの力をしっかりと育むことによって、豊かな人生を送ることができる」と述べられています。そして、『非認知能力』を育むためには、「特別なことは必要なく、土台となるのは、乳幼児期に親子、また周りの大人との愛着関係を深め、親や周りの大人から無条件の愛をもらうことで、ありのままの自分に価値があるという自己肯定感を育む。他者を信頼し、安心して様々なことに挑戦し、自立につながっていく」と述べられており、言葉は少し違ってもかもしれませんが、すいこうで大切にしている事柄がすべて書かれていました。さらに、家庭の役割

として、「必ず朝ご飯を食べる、毎日決まった時間に起床、就寝するといった基本的な生活習慣を確立させること、また、家の中に本など様々なものを置いて、「なんだろう」という好奇心をくすぐることも大切」とおっしゃっています。生活習慣の確立は、ご家庭での在り方が重要です。すいこうでは、一人ひとりの子どもたちの興味のあること、好きなことをとことん探求できるように、時間を工夫し、好奇心をくすぐるような環境を整えています。赤ちゃんの頃から暖かなまなざしで見守り、泣いている時には、「抱っこして欲しかったね」とか、「眠くなっちゃったね」と、気持ちを察して安心するまで抱っこをしたり、少し大きくなって友だちとおもちゃの取り合いをして涙が出た時に、「あのおもちゃが欲しかったね」と気持ちを寄り添うことを大切にしています。そういったことを繰り返すことで、安心していろいろなことに挑戦し、様々なことに立ち向かっていく生きる力を持った子どもに育っていくのだと思います。また、仲間存在も不可欠です。先日、2歳児さんが園庭で遊んでいたとき、転んだお友だちにFちゃんとKちゃんが急いで駆け寄り、「大丈夫」「痛かったね」と言いながら、起こしてあげていました。誰かに言われたわけではなく、思わず駆け寄った二人。目には見えない相手を思いやる気持ちが育まれていると感じました。もちろん2歳児さんですからまだまだおもちゃの取り合いやけんかになることもありますが、これから少しずつあそびの中で様々な経験を重ねることで、『非認知能力』が育まれていくことでしょう。最後に浜野先生は、「学力や知能など測定できる『認知能力』と『非認知能力』は、密接に関わり発達していく。例えば、忍耐力があって、自己制御ができれば、知識を獲得しやすくなり、それが面白くてさらに学びたい気持ちが高まる。」と、締められていました。すいこうでたくさん遊んで、たくさんけんかもして、そしてたくさんみんなから愛されながら過ごしている間に『非認知能力』が育まれていくのだと思っています。

今月は、子どもたちが楽しみにしている運動会があります。子ども真ん中の運動会。ご家族で楽しい時間をお過ごしいただけることを願っています。

園長 上原玲子

### 秋といえば、やっぱり食欲。



子どもたちが楽しみにしている給食の時間。9月より、年長さんは、食べられる量を考えながら自分で配膳しています。たくさん取り過ぎてしまうこともあります。完食しています。すいこうの子どもたちは食べることが大好きです。みんなで一緒に食べると、ちょっぴり苦手な食材でも食べてみようという気持ちが生まれ、一口でも食べた、また食べようとしたことが自信につながっているようです。

ご家庭で食卓を囲んで、今日の出来事を語り合いながらの食事は、より楽しく、おいしく、心の栄養にもなることでしょう。

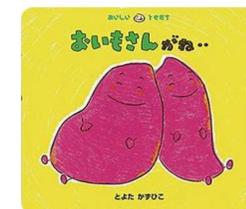


### 秋といえば、やっぱり読書。

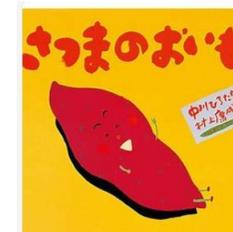
読書週間は、10月27日～11月9日です。良い本が広く読まれることを目的として作られたといわれています。素敵な本にたくさん出会えるといいですね。

#### 秋のおすすめ絵本

##### おつきみおばけ



##### おいちさんがね…



##### さつまのおいも

